

岡田英作 著

# 瑜伽行派における種姓説の展開

—初期瑜伽行派から中期瑜伽行派へ—

「衆生が悟りを開く可能性」をめぐる、  
唯識（瑜伽行）派の思索。

中観派と共に、インド大乘仏教の二大学派とされる唯識（瑜伽行）派。本書は、同派における「種姓＝衆生が悟りを開く可能性」をめぐる思索を、各文献に当たりつつ、東アジアの仏教にも大きな影響を与えた議論の詳細を明らかにします。後半には、同派の根本となる『瑜伽師地論』から「菩薩地」種姓品の和訳と校訂テキストを収録し、「菩薩とは何か」を具体的に提示。「唯識の人間論」についての本格的な研究書です。

【著者紹介】岡田英作：高野山大学文学部特任講師 / 博士（文学）

A5 判上製 本文 468 頁

定価（本体 10,200 円＋税）

ISBN978-4-907022-32-7 C3015



ご注文は株式会社 JRC (FAX03-3294-2177 TEL03-5283-2230) まで。

\* JRC 経由で全ての取次に出荷できます。

ご注文書	番線印	岡田英作 著  <b>瑜伽行派における種姓説の展開</b> —初期瑜伽行派から中期瑜伽行派へ—  A5 判上製 本文 468 頁 定価（本体 10,200 円＋税） ISBN978-4-907022-32-7 C3015
	ご担当者様	